

教育の質の向上を目指して—

益城町の学校が日本初の事業に着手！

益城町では昨年度、各教室に大型テレビを設置し、教職員がノートパソコンを1人1台使える環境を整備しました。そして、環境活用の一環として、煩雑な校務の処理を電子化することで教職員の児童・生徒と向き合う時間を確保すること、また電子機器の活用により教育の質を向上させることを目標としました。

まず本年度は、熊本県教育委員会と日本IBMの協力を得て、校務処理の電子化を進めています。

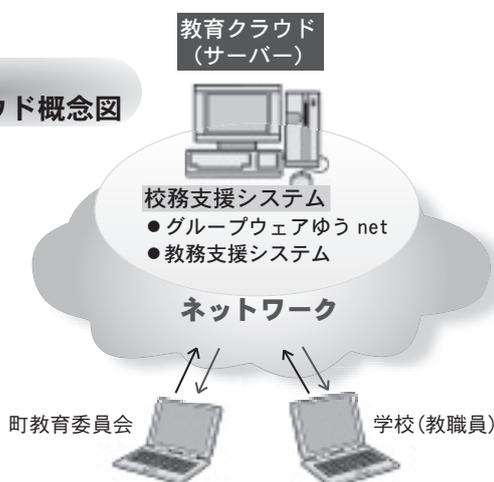


校務処理の電子化には、県内の市町村では初導入となるグループウェア「ゆう net」、また、国内の市町村では初となる指導要録の完全電子化を行う「**校務支援システム**」の2つのシステムから成る『**校務支援システム**』を用います。

教育関係の公務をクラウドコンピューティング化した「教育クラウド」としては、全国初の事例として県内外から注目を集めています。

導入される内容は、教職員の出勤・休暇・出張管理、児童生徒の出欠・成績管理、通知表および指導要録の作成です。

益城町 教育クラウド概念図



クラウドコンピューティングとは？

インターネットを図で表すときに、よく雲のイメージが使われますが、クラウド (cloud) とは雲を意味する英単語で、ネットワーク (通常はインターネット) のことを指します。クラウドコンピューティングとは、ネットワーク、特にインターネットを通じてさまざまなサービスを得ることができる技術です。



システム導入研修の様子

今、各学校では研修会を何度も開いて、このシステムをしっかりと活用できるよう努力しているところです。

1学期の各学校の通知表は、このシステムを活用して作成します。

問い合わせ先 役場学校教育課 ☎ 286-3111
内線 311・312